

みどりの風

2017年 良い年にして いきましょう。



私たちが大切にしたいもの

介護事業は人と人との関係の中で営まれ、よい関係の中でこそ発展します。社会福祉法人悠朋会の活動に関わる全てのスタッフがこのことの大切さを認識し、責任を持ってサービスを提供するために、ここに私たちの思いを表明します。

1. 私たちは、利用者を固有の歴史を持った個人として尊重し、あらゆる意味でその命と人生に敬意を持って接します。
2. 私たちは、利用者の主体性と可能性を信じ、サービスを通して多くの力と個性が発揮できるよう支援します。
3. 私たちは、利用者が安心感と自信を持ってサービスを利用できるよう、援助者としての暖かさと誠実さを大切にします。
4. 私たちは、職務上知り得た利用者の情報やプライバシーを尊重し、専門職として秘密保持に責任を負います。
5. 私たちは、利用者に対しいかなる差別も行わず、また、身体的、精神的な暴力、虐待及び拘束を行いません。
6. 私たちは、専門性を持った援助者としての研鑽に努めるとともに、苦情に対して誠実に受け止め良心と責任を持って対処します。
7. 私たちは、事業を通して地域福祉の課題を捉え、誰もが必要なときに必要な支援が受けられる地域社会の実現に努力します。
8. 私たちは、この事業の社会的な責任を鑑み、情報の公開に積極的に取り組むと共に事業の健全な運営と継続に努めます。

人・ひと日記

小林 功

時の流れの速さを年齢を重ねる毎に感じるのには確か
なことだと思っています。新聞でこんな記事が目にとまり
ました。『五十歳の人にとつての一年の長さは人生の
50分の1であるが、5歳の子供にとつては5分の1
に相当する』という考え。さらに、『5歳のころは見
るもの聴くもの新鮮なことがかりで記憶の中にどん
どん刻まれていく。一方年をとると過去の類似体験の中
で新鮮さが驚きが薄まってしまふ。記憶となつて心に
刻まれるものが少なくなっていくことが時の長さの感
じ方にも影響してくるのではないだろうか・・・』
という考え方。感覚的には理解できるような気がしま
す。これを克服する方法はただ一つ。毎日を新鮮な感
動が得られる日々にしていくことでしょうか。

6歳になった孫と時々遊んでいます。絵を描いたり
ブロックを組み立てたりと一人で良く遊ぶ子でじい
ちゃんばばで居眠りをしながら過ごす時です。
先日、こんな質問をしてきました。孫「おじい
ちゃん何歳?」。私「72歳」。孫「わー すぐ死ん
じゃう」。私「じゃあ今のうちにいっぱい遊んでおこ
う」。孫「うん」。

周りに親とか人がいたらイエローカードが出たのか
も知れませんが私にとってはそんなことはなく、幸福
感に満たされた短いやりとりでした。こんなに穏やか
な気持ちになったのは何故なのでしょう?

「Generatio moriメントモリ 死を想え」。誰も
が避けることができない人生の最大のテーマ。将来私
がこのテーマに直面したとき、この子はしっかり向き
合ってくれるような気がしたからだと思います。

2016年。オリンピックがありました。熊本地震
や障害者施設の襲撃事件。政治の世界も不安が増す動
向ばかりの一年でした。私たちは身の回りだけでも明
るくしていきたい思います。2017年。力を合わせて
良い年にしていきましょう。

2017.1.1

-NO.220-

発行 社会福祉法人悠朋会
相模原市中央区千代田2-4-1
千代田デイサービスセンター
042-751-0672
ヘルパーステーション千代田
042-704-0261
千代田介護支援センター
042-704-0281
千代田相談支援センター
042-707-1434

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com



2016年一年間の最後の行事は、恒例の千代田大忘年会。ボランティアさんによる出し物や職員による千代田版愛染かつら等を見たり、みんなで歌ったり飲んだりしながら、楽しく一年を締めくくりました。



2017年のとり年は、
とり もつご縁を大切に
楽しいことにめいっぱい とり 組んで
羽ばたく 飛躍の一年にしたい
と思います。

管理者 田島教次

市民交流スペースのご案内

12月の展示内容 「三角パーツ作品展」 飯泉稔



12月の展示はデイサービスをご利用されている飯泉稔さんの三角パーツ作品展を開催しました。三角パーツは一つの作品をつくるためには数百から千を超える小さな同じ形のパーツを作り続ける必要があり、これまで自宅でこつこつと作り続け完成させた作品たちです。



2017年《酉年》です。十二支の順番で「とり」の前は「猿」。後ろは「犬」。

「犬猿の仲」をとりにす、仲裁役が「とり」という話があるそうです。

新年の抱負を一文字で表すと「結」と考えました。私自身も身の回りのことから決断しながら、いろんな意味で結果がでるように頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。

介護保険管理者 古屋いずみ

平成26年から相談支援事業に携わる中で他事業所・他職種・市の職員様からご指導頂き考え方に幅が持てるようになりました。今後も皆様の生活を柔軟に考えられる事業所でありたいと思っております。制度上どうしても事業所のサービスでは賅えない事柄もありますが、何にもとらわれずご本人らしい生活が実現できるよう一緒に考えさせて頂きたいです。

また千代田の個性豊かなヘルパーが生き生きと活動でき、皆様に訪問を楽しみにして頂けるような事業所を目指し、2017年も積極的に取り組んで参りたいと思っております。

まだまだ力不足ですが私なりに全力で勤めさせて頂きたいと思っておりますので引き続きご指導、ご鞭撻下さいますよう宜しくお願い致します。

総合支援管理者 渡辺真由美

餅つき	1日(日)
獅子舞	2日(月)
初詣	3日(火) ~ 9日(月)
体重測定	9日(月) ~ 15日(日)
クラフトボラ	12日(木)
キーボードボラ	15日(日)
書道	16日(月)、19日(木)
折り紙	19日(木)
寿司ビュッフェ	19日(木)
紙粘土	22日(日)
いも煮	23日(月)
交流会	23日(月)、25日(水)
誕生会	25日(水) ~ 31日(火)

1月の予定



ケアマネジャー



千代田介護支援センターでは現在6名のケアマネジャーが在籍し日々業務を行っています。2016年は総合事業が始まりました。介護保険に関する報道も色々あり、利用する皆様も厳しさを感じていることと思われますが、サービス事業者やケアマネジャーの置かれる状況にも年々変化がありその厳しさを感じます。それでも、私たちは日々自己研鑽に励み、前進あるのみです。社会福祉法人悠朋会の理念である「私たちが大切にしたいもの」を胸に2017年もより良い支援を心がけていきたいと思ひます。2017年も千代田介護支援センター一同をよろしくお願いいたします。

管理者 志村章子

相談支援



相談支援センターは開所してから今年で4年目を迎えます。開所以来の皆様からのご支援等にあためて感謝申し上げます。障害のある方の日常の生活や社会生活を営むうえで、障害福祉サービスなどの利用計画の作成や、福祉サービスに限定しない諸々の社会資源の活用などを考えながら提案させていただいています。その一方で、困り感をお聞きするための心くばり、色々な特徴を持った市内の事業所との連携や関係作り、相談員自らの支援技術力向上などに取り組んでまいりました。その様な積み重ねから、一つずつ成果に結び付けて行きたいと思ひを新たにしています。今年も宜しくお願いいたします。

管理者 菊地歳光

いちばん星



今年、2年目を迎えるいちばん星。開所から目指してきた児童クラブのあるべき姿。「子供たちが心安らぐところ・夢中になれるものがそこにあるところ・ホッとできる居場所であるところ」今年も目指します。指導員一丸となり新たな気分で充実させていきたいと思ひます。宜しくお願いします。

児童クラブ いちばん星
加藤 和代

第九回千代田ふれあいコンサート



平成28年11月23日（水）、メイプルホールにて『川口兄弟ピアノコンサート』を行ないました。約80名の入場者が来られ、川口兄弟の超絶技巧に聴き入っていました。アンコールにも快く答えて頂き、コンサート後の質問タイム、握手会も盛り上がりしました。

震災の募金で32,291円、タイガーマスクになりましたよう募金で39,113円が集まりました。皆様ご協力ありがとうございました。